

# 新たな価値を求めて



ごあいさつ

岐阜県知事

古田 肇

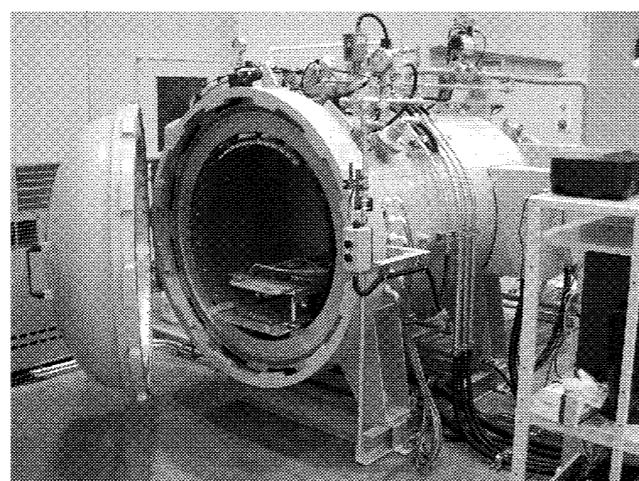
「ぎふ技術革新センター」の開所にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび開所を迎える「ぎふ技術革新センター」は、岐阜県の主要産業であるモノづくり産業の活性化や成長産業分野への展開を目指す産学官連携活動の新たな拠点として整備して参りました。

本センターには、最先端の加工機械から材料試験機、評価分析機を40機導入しており、特に、軽くて強い素材として注目されているCFRPの成形加工機であるホットプレスは、厳しい品質認証が必要な航空機産業で実際に使用された実績を有しております、これからの技術開発・研究開発の中心として航空機や自動車関連企業など産業界の期待も大きな機器であります。

また、開所に先立ち、川崎重工業(株)、岐阜大学、岐阜県の3者を中心、大学、産業団体、多くの企業の皆様にご参加いただいた「ぎふ技術革新センター運営協議会」を設立いたしました。本センターを活用した共同研究や若手研究者による研究活動、産学官の交流が活発に行われるよう、本協議会を通じて支援を行って参ります。

皆様には、本県の新しいイノベーションの拠点として、ぎふ技術革新センターを大いにご活用いただきますようお願い申し上げます。



航空機部品開発に不可欠なオートクレーブ

既存の岐阜県機械材料研究所が金属加工工に重点

を置いていた研究施設である

のに対し、ぎふ技術革新

センターは次世代の航空

機・自動車産業を見据え

たCFRPの加工、評

価、試験などに特徴があ

る。熱硬化性のCFRPやガラス繊維強化プラス

チック(GFRP)を加工する

芦田製作所(大坂

府門市)製のオートク

レーブは目玉の一つ。直

径90cm、奥行き1.5m

も試作や加工経験の機会

が得られるのは貴重だ。

量産技術の確立が課題

の熱可塑性CFRP・G

FRP用にはアルティ

ック(東京都新宿区)のホ

ットプレスを導入した。

エアバス旅客機マーリ

ーの部品製造認証を得

り、最大加工能力が

500t。ボーリング

レーブと同室に設置。技術

開発の余地が多いホッ

トプレスはオートク

レーブが加工できる特別仕様

材が加工できる特別仕様

機器なども組み合わせ

た。切削時の動力計や安

定切削解析システムなど

も追加されており、加工

データの収集により複合

材料加工のノウハウを科学

的に蓄積できる。

機器なども組み合わせ

た。切削時の動力計や安

定切削解析システムなど

も追加されており、加工